

＜先週の説教から＞

『ミカ② - 人をあざむく泉』

武田真治牧師

ミカ書 1:8-16 マルコ福音書 15:16-32

前回から『ミカ書』を読み始めました。ミカは預言者として神様から召命を受けた人物ですが、その“召命”とは、ひとえに神様から言葉や幻(=絵や映像)を与えられた(=預かった)ことを指します。特にミカは「モレシエト人ミカがサマリアとエルサレムについて幻に見たものである。」と1節にありますように、神様から映像=幻を与えられた預言者でした。今日の箇所もその“幻”の続きです。即ち「ガドで告げるな、『決して泣くな』と。シャフィルの住民よ、立ち去れ。ベト・エツェルにも悲しみの声が起こり〜」です。

これらはすべて町や村の名前です。地図で調べると、地中海沿岸のペリシテとの境界線にあるガドの町から東へ移動し、やがて北上しエルサレムの都に達する道=ルートを書いているのです。それらの町々が次々と破壊されると。そのルートにはラキシユというエルサレムの守備のためレハバアム王が造った砦の町もありますが、「ラキシユの住民よ、戦車に早馬をつなげ。」と強力な敵が攻めて来て、兵士たちは戦わず逃げるだけになり、何の防御にならないだろうと。

以上は、敵軍がこのルートを通してエルサレムまで攻め入って来るという預言なのです。おそらく映像としてミカが神様から与えられたものでしょう。まさにエルサレムが必ず滅びるという預言です！しかも「マロトの住民は幸いを待っていたが、災いが主からエルサレムの門にくだされた」とあるように、これらのユダ領にある町々が攻められても、エルサレムからの援軍は来ない(=見捨てられる)ので、すべて滅ぼされると。その中にはミカの故郷の町(モレシエト)もあります。故に「モレシエト・ガドに離縁を言い渡せ」と。もはやユダ王国から離れる、期待するなど！

その上でエルサレムに対しては「髪の毛をそり落とせ。禿鷹(はげたか)の頭のように大きなはげをつくれ」と言われています。当時、武具である兜(かぶと)を安定させるため

頭頂を剃りました。また長く戦いがあると更に頭頂がはげていきます。これは“それでもエルサレムの住民が自分で戦わなければならない時が必ず来る”という預言です。実際、このルートでアッシリアもバビロニアも攻めて来たのでした。

今日は新約聖書からイエス様の十字架の場面も読みました。主の十字架は、本当なら私たち自身が自分の罪との血みどろの戦いをしなければならないのに、イエス様が私たちに代わってその戦いを戦ってくださった出来事です。それによって私たちは“救われた”のでした。この主の十字架にこそ、『私はあなたがたを決して見捨てない。犠牲にしない』というイエス様の“愛と慈しみ”が宣言されているのです。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 9月13日(水) 20:00
II. 9月14日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題: 宇都宮東伝道所を覚えて

担当者: (水) 羽倉 (木) 上松
祈りに覚える人: 三箇さん 鄭さん

【教勢報告】

主日礼拝 男19 女55 計74
祈祷会 I. 男5 女4 計9 II. 男2 女8 計10
日曜学校 幼稚科5 小中科12 計17

【次週主日礼拝】 9月17日(日)

聖書: ミカ書 2:6~13
ローマの信徒の手紙 9:19~29

説教: 「ミカ④ - もう預言を語るな！」
武田真治牧師

讃美歌: 151(1)、32、413(1~3)、502(1と2)、453(1~3)、88(1)

【次週当番表】

司式: 岩佐長老 奏楽: 勝村 礼拝: 金刺長老
献金: 田嶋 高村 受付: 飯島 吉岡
会堂準備: 小杉 富澤 長田 橋本
北條

看板: 曾我 週報: 吉岡 お花: 羽倉

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後: ・オリブの葉編集委員会 ・日曜学校教師会
幼稚園理事会・バザー委員会・お茶の会
・牧師と語る会 ・聖歌隊練習

週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

2023年 9月 10日

日本キリスト教団 上尾合同教会
牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33
TEL&FAX 048-771-6549
<http://www.ageo-church.org/>